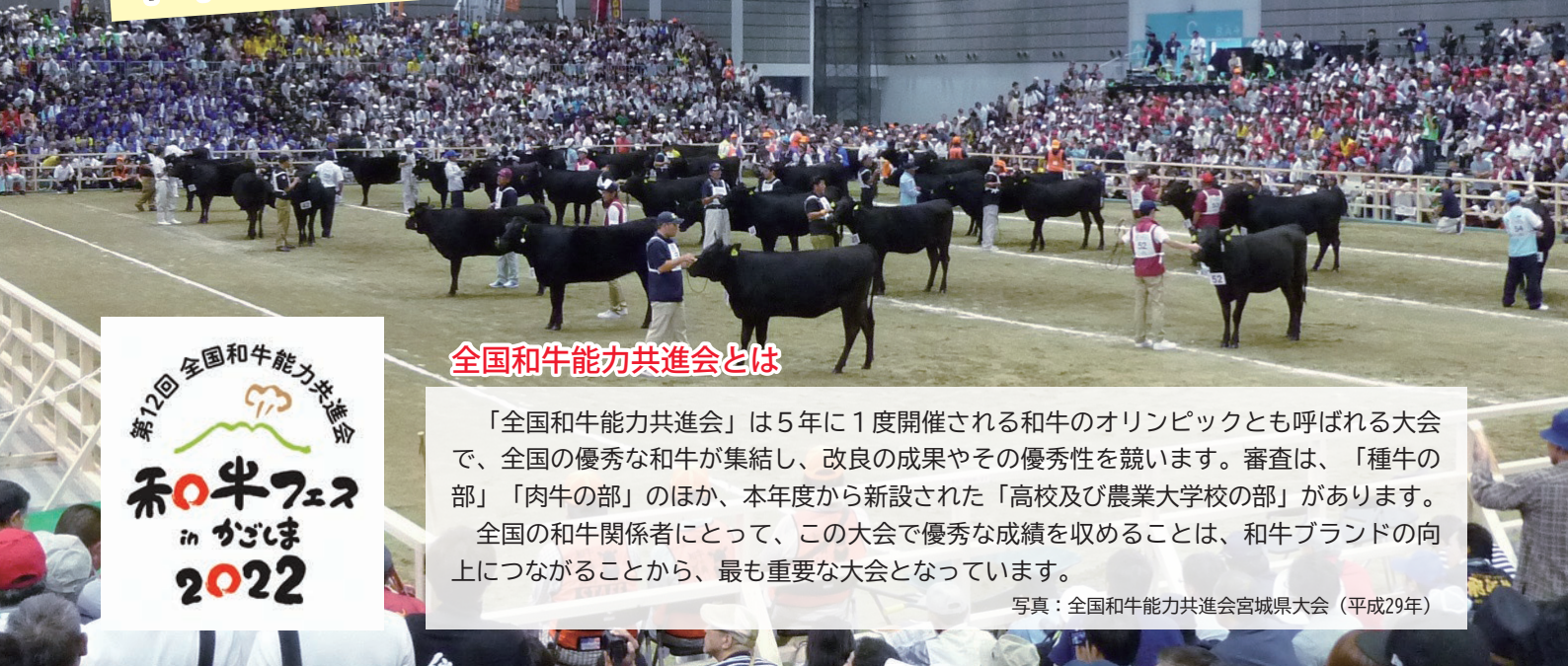


～和牛オリンピック 日本一を目指して～ 十和田市の和牛が全国和牛能力共進会へ出場！



全国和牛能力共進会とは

「全国和牛能力共進会」は5年に1度開催される和牛のオリンピックとも呼ばれる大会で、全国の優秀な和牛が集結し、改良の成果やその優秀性を競います。審査は、「種牛の部」「肉牛の部」のほか、本年度から新設された「高校及び農業大学校の部」があります。全国の和牛関係者にとって、この大会で優秀な成績を収めることは、和牛ブランドの向上につながることから、最も重要な大会となっています。

写真：全国和牛能力共進会宮城県大会（平成29年）

青森県代表牛の選出

7月19日、県家畜市場（七戸町）で青森県最終選抜会（種牛の部）が行われ、本市在住の沢目寿弘としひろさんが肥育する「むき」が第3区「若雌の2（生後17～20カ月未満）」の県代表牛に選出されました。県代表牛は、10月6日～10日に鹿児島県で開催される「第12回全国和牛能力共進会」へ出場します。

出場する種牛の部は牛のコンテストともいわれ、牛の体型の良さなど、改良の成果を月齢別に審査します。そのため、角や蹄ひづめのケア、毛の手入れなどにより日々美しさを磨き、また、美しい姿勢で静止や歩行ができるよう訓練をして大会に臨みます。



第3区の県代表牛に選出された「むき」
 （父：優福栄／母の父：第2花国）

出場者インタビュー

親子で出場する「和牛オリンピック」

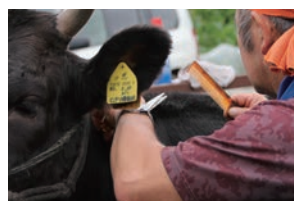
全国大会に向け、多くの機関の方々に支えていただき、大変感謝しています。大会では、県代表としてでき得ることをし、県や市、農協、和牛改良組合の方々などのこれまでの支援や思いに応えたいです。

県の最終選抜会から、娘と一緒に全国大会へ出場することを目標に頑張ってきました。全国大会では、娘がハンドラーとして「むき」の綱を引き、また、後継者家畜審査にも出場するので、この機会にさまざまなことを学んでほしいと思っています。

「むき」と沢目寿弘さん▶



＝ 手入れや調教の様子 ＝



バリカンやはさみを使い、毛をカットし整えます



シャンプーで体を洗い、汚れを落としツヤを出します



綱や声で意思を伝え、静止や歩行ができるよう調教します



発育管理をし、適度な栄養状態に整えます